

# 沖縄県地域連携高齢者支援基金の設置

## 現状課題

高齢者人口の沖縄県の伸び率は、他の都道府県の伸び率が緩やかになる局面においても増加することが見込まれており、今後の急速な高齢化への対応が急務である。

## 目的

高齢者が住み慣れた地域で日常生活を営むことができるよう、事業者、地域住民その他の地域社会を構成する多様な主体による高齢者を支援するための取組を集中的に推進する。

# 沖縄県地域連携高齢者支援基金の内容

## 基金事業

R8-R12

4事業  
15億円

1. 高齢者フレンドリー社会をつなげるプラットフォーム事業  
多様な主体が連携し、又は協働することを支援する官民共創の場(プラットフォーム)を構築する。
2. 多様な主体によるサービス創出事業  
高齢者が住み慣れた地域で日常生活を維持することができるよう、多様な主体が行う事業の創出を支援する。
3. 地域密着型サービス事業者参入促進事業  
要介護者の住み慣れた地域での生活を支えることができるよう、地域密着型サービスを提供する介護サービス事業者の参入促進を図るための経営支援を実施する。
4. 超高齢社会に対応する重点課題対策事業  
制度や分野の枠を超えて、超高齢社会への対応を集中的に推進するための事業を実施する。

## 事業効果

- ・市町村域や産業分野の枠を超えて多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が「丸ごと」つながる地域共生社会の実現
- ・多様な選択があり、住み慣れた地域で日常生活を営める高齢者フレンドリー社会の実現

### 基金スキーム

